

平成28年4月28日
東日本高速道路株式会社
中日本高速道路株式会社
西日本高速道路株式会社

来年度までに150kmを超えるガソリンスタンド空白区間をゼロにします

NEXCO東日本／中日本／西日本は、高速道路上でのガソリンスタンド（GS）空白区間における燃料切れを防止するため、国土交通省と連携し、来年度までに150kmを超える全てのGS空白区間を解消することを目指すこととしました。まずは、7月中旬までに、5つのインターチェンジ（IC）において、路外給油サービス（※）を実施します。来年度は、これらの効果検証を行いつつ、実施箇所を拡大していきます。

なお、この取り組みは、民営化後10年を迎えた高速道路機構・会社のこれまでの成果・課題や今後必要な取組みについて、国土交通省がとりまとめた「高速道路機構・会社の業務点検」（平成27年7月）を踏まえ、検討してきたものです。

※ 指定GSでの給油のため、指定ICから一時退出した場合には、目的地まで連続して走行した場合と同額とする料金調整を実施（長距離遙減は継続）（ETC車限定（一部ICを除く。））

○路外給油サービス対象IC

道路名	指定IC	実施機関	備考
磐越自動車道	新津IC	NEXCO東日本	※1
東海北陸自動車道	福光IC	NEXCO中日本	※1
道東自動車道	十勝清水IC	NEXCO東日本	※2
中国自動車道	吉和IC、六日市IC	NEXCO西日本	※3

※1 社会実験の開始時期は、平成28年7月中旬を目途にしていますが、詳細は改めてお知らせします。

※2 給油のため、一時退出した場合にも、料金が変わらない旨、周知します（ETC車、非ETC車も可）。

※3 平成27年4月20日から社会実験を実施しています。

ガソリンスタンド空白区間の解消について

別紙



路外給油サービスにより
平成28年度中に空白区間解消

